

令和4年度 鳴滝総合支援学校 学校評価アンケート(後期) 集計結果

生徒		実現度			
		よく出 来てい る	大体出 来てい る	あまり 出来て いない	出来て いない
1	将来の夢や希望がある	49.3%	37.3%	6.0%	7.5%
2	共通教科で「わかった」「できた」と思うことがある	55.2%	34.3%	7.5%	3.0%
3	専門教科で「わかった」「できた」と思うことがある	58.2%	34.3%	6.0%	1.5%
4	職場等実習で「できた」「やりきった」と思うことがある	56.7%	35.8%	6.0%	1.5%
5	企業の協力により、職場等実習ができていることがわ かっている	76.1%	20.9%	1.5%	1.5%
6	地域の協力により、校外演習ができていることが わかっている	56.1%	30.3%	10.6%	3.0%
7	いろいろな知識や技能が身についてきていると思う	51.5%	33.3%	10.6%	4.5%
8	先生は、なんのために勉強するのかをはっきり教えてく れる	61.2%	32.8%	6.0%	0.0%
9	先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる	73.1%	20.9%	6.0%	0.0%
10	先生は、学習の成果について、伝えてくれる	59.7%	34.3%	6.0%	0.0%
11	学習の成果を知って次の目標をたてている	41.8%	46.3%	9.0%	3.0%

12	卒業後の進路や生活について、先生や保護者と相談できている	29.9%	43.3%	20.9%	6.0%
----	------------------------------	-------	-------	-------	------

13	自分からあいさつをしたり、ていねいな言葉づかいで 話す ことができている	37.3%	40.3%	17.9%	4.5%
14	病気や健康に気をつけながら、学校へ通っている	59.7%	31.3%	4.5%	4.5%
15	学校のきまりや約束を守っている	55.6%	32.3%	10.5%	1.5%
16	ともだちへのおもいやりをもち、お互いに協力している	60.4%	33.6%	3.0%	3.0%
17	学校や家庭で自分に任された役割があり、実行してい る	52.2%	35.8%	9.0%	3.0%
18	自分の長所がよくわかっている	41.8%	26.9%	23.9%	7.5%
19	自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている	40.3%	38.8%	13.4%	7.5%

肯定的回答の割合が平均すると87.3%と高くなっており、前回・前々回とほぼ同じ傾向である。前期の結果を受け「工夫・改善していきたいところ」としていた項目12については、肯定的な回答が大幅に増えている。学校祭をはじめ、諸行事の多い後期の学習を進める中、より関わりも増え、話をしたり相談をしたりする機会が自然と多くなったことに起因すると推測される。項目11の肯定的な回答も10%以上増えており、前年度との比較においてもその割合は上がっている。授業の振り返りシートやワークシートの工夫・改善を重ね、「思考の可視化」に焦点を当てた校内研究の取組の成果とも考えられる。全体的に「出来ている」との肯定的回答が90%を超えている項目が多く、一定安心できるところではあるが、一方で項目によっては「出来ていない」と否定的回答をしている生徒が一定数いることを忘れず、今後も引き続き一人一人に合った指導の仕方や環境設定、またそれぞれの生徒の学び方等について、学校全体で共有・検証しながら取組を進めていく。

保護者		実現度			
		よく出 来てい る	大体出 来てい る	あまり 出来て いない	出来て いない
1	子どもは、将来の夢や希望を描けている	8.1%	62.9%	25.8%	3.2%
2	子どもは、共通教科で満足感や達成感をもっている	6.5%	74.2%	17.7%	1.6%
3	子どもは、専門教科で満足感や達成感をもっている	22.6%	69.4%	4.8%	3.2%
4	子どもは、職場等実習で満足感や達成感をもっている	40.3%	50.0%	8.1%	1.6%
5	企業のご協力により実習ができていることを理解して いる	48.4%	48.4%	3.2%	0.0%
6	地域のご協力により演習ができていることを理解して いる	37.1%	56.5%	4.8%	1.6%
7	子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を 身につけてきている	8.1%	75.8%	16.1%	0.0%
8	子どもの目標や学習計画に基づいて、計画的に指導 や支援がされている	30.6%	66.1%	1.6%	1.6%
9	子どもが理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	30.6%	64.5%	4.8%	0.0%
10	子どもの努力や達成度について、適切に評価されている	33.9%	62.9%	3.2%	0.0%
11	子どもが次の目標を持てるように評価されている	32.3%	59.7%	6.5%	1.6%
12	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	37.1%	58.1%	3.2%	1.6%
13	子どもと卒業後の進路や生活について日頃から話をし て共有している	27.9%	49.2%	23.0%	0.0%
14	個別の相談について、学校は保護者に適切に対応し ている	40.3%	53.2%	6.5%	0.0%
15	保護者として、本校の教育の趣旨や目的を理解している	25.8%	71.0%	3.2%	0.0%
16	子どもは、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣い で話すことができている	22.6%	54.8%	21.0%	1.6%
17	子どもは、健康な生活を送ることを意識して、自分なり の維持管理に取り組んでいる	21.0%	67.7%	9.7%	1.6%
18	子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%
19	子どもは、友だちに対して思いやりを持ち、お互いに協 力している	24.2%	69.4%	6.5%	0.0%
20	子どもは、家庭で任された役割があり、実行している	19.4%	64.5%	16.1%	0.0%
21	子どもは自分の長所に気づいている	3.2%	59.7%	37.1%	0.0%
22	子どもの自己肯定感が高まってきている	9.7%	62.9%	27.4%	0.0%

前期に否定的回答が30%以上だった項目(1,7,13,21,22)において、肯定的回答の割合が上がっている。項目7にある「生徒たちの『生きる力』が身についてきている」と感じる保護者の割合が、前期より大幅に上がっており、前年度の結果と比べても高くなっている。日々の取組を通して、生徒たちが学びを深めながら自信をつけ、日常生活の中でも意欲的・主体的に行動する姿を保護者の前で見せることが出来ているのかもしれない。項目21,22の評価も上がってきており、前期と違い生徒のアンケート結果との隔たりが減少している。結果を見る限り、生徒と保護者の捉え方がそろってきており、そのことは項目13の肯定的な回答の増加に起因しているかと思われる。

教職員		実現度			
		よく出 来てい る	大体出 来てい る	あまり 出来て いない	出来て いない
1	児童生徒は、将来の夢や希望を描けている	14.3%	77.1%	8.6%	0.0%
2	児童生徒は、「共通教科」で満足感や達成感をもってい る	15.2%	78.8%	6.1%	0.0%
3	児童生徒は、「専門教科」で満足感や達成感をもってい る	14.3%	71.4%	11.4%	2.9%
4	児童生徒は、「職場等実習」で満足感や達成感をもっている	31.4%	68.6%	0.0%	0.0%
5	児童生徒は、企業のご協力により実習ができているこ とを理解している	25.7%	60.0%	14.3%	0.0%
6	児童生徒は、地域のご協力により演習ができているこ とを理解している	22.9%	57.1%	20.0%	0.0%
7	児童生徒は、個別の包括支援プランに沿った「生きる 力」を身につけてきている	11.4%	82.9%	5.7%	0.0%
8	個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導を行なっている	20.0%	65.7%	14.3%	0.0%
9	学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでい る	42.9%	51.4%	5.7%	0.0%
10	児童生徒の努力や達成度について適切に評価し、個 別の包括支援プランの作成や指導法の改善にいかし ている	28.6%	60.0%	11.4%	0.0%
11	児童生徒が次の目標を持てるような評価をし、児童生 徒に伝えている	42.9%	48.6%	8.6%	0.0%
12	個別の包括支援プランを基に、短期目標や評価を保 護者に適切に伝えている	40.0%	54.3%	5.7%	0.0%
13	児童生徒や保護者と卒業後の進路や生活について話 をして共有できている	47.1%	41.2%	11.8%	0.0%
14	保護者からの個別の相談に適切に対応している	65.7%	34.3%	0.0%	0.0%
15	保護者は、本校の教育の趣旨や目的を理解している	20.0%	74.3%	5.7%	0.0%
16	児童生徒は、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉 遣いで話すことができている	11.4%	74.3%	14.3%	0.0%
17	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識して、自分 なりの維持管理に取り組んでいる	8.6%	80.0%	11.4%	0.0%
18	児童生徒は、学校の決まりや約束を守って学校生活を 送っている	17.1%	74.3%	8.6%	0.0%
19	児童生徒は、友だちに対して思いやりを持ち、お互い に協力している	28.6%	68.6%	2.9%	0.0%
20	児童生徒は、学校で任された役割があり、実行している	37.1%	60.0%	2.9%	0.0%
21	児童生徒が自己理解を深められるような取組をしている	25.7%	68.6%	5.7%	0.0%
22	児童生徒の自己肯定感が高められるように意識して指導にあたっている	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
23	教職員間での報告・連絡・相談を常に意識し、情報の 共有に努めている	45.7%	48.6%	5.7%	0.0%
24	全教職員が「学校いじめの防止等基本方針」の内容を 理解し、組織的対応に努めている	44.1%	50.0%	5.9%	0.0%
25	児童生徒や保護者の訴え（アンケート結果含む）や相 談内容を共有している	44.1%	44.1%	11.8%	0.0%

肯定的な回答の割合が平均すると92.0%と高く、前回・前々回とほぼ同じ傾向である。項目14は、前期・後期を通して「出来ている」との肯定的回答が100%という結果である。引き続き、保護者からの相談には誠実で丁寧な対応を心がけつつ、信頼関係を深め、学校と家庭との安定した協力体制を維持していきたい。